

日本製粉(株) 第3四半期連結累計期間の業績および通期連結業績予想

—売上増により全セグメントで増収増益—

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	254,992	104.0	8,729	114.5	10,500	112.8	6,839	109.5
2018年3月期第3四半期	245,108	103.2	7,622	84.3	9,311	89.2	6,243	87.3

< 連結業績のポイント >

- 売上高は、製粉・食品・その他事業ともに増収
- 利益面では、売上増による利益拡大等により製粉・食品・その他事業ともに増益

< 連結業績の概況 >

2019年3月期第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策など懸念材料も多く、先行きの不透明感が増しています。

食品業界におきましては、消費者の低価格志向が根強く残る中、原材料価格や人件費・物流費等のコスト上昇が加わり、依然厳しい状況が続いています。また、TPP11の発効に象徴される国際貿易協定への動きが進展しており、段階的な関税撤廃による影響が懸念されます。

こうした状況の下、当社グループは、絶えず変化を続ける事業環境に対して、柔軟かつスピーディに対処するため、売上増とコスト削減を軸に、従来の基本施策を踏襲した事業基盤の強化に取り組んでおり、今後成長が見込まれる分野への積極的な投資や、生産拠点の再構築、また、さらなる海外事業の拡大を図り、生産能力の増強に取り組むなど、持続的成長を目指し邁進しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,549億9千2百万円(前年同期比104.0%)、営業利益は87億2千9百万円(同114.5%)、経常利益は105億円(同112.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は68億3千9百万円(同109.5%)で増収増益となりました。

< 連結業績予想 >

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期 通 期	350,000	108.2	12,000	119.3	13,500	113.8	9,000	117.6

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました予想数値から変更はありません。また、配当金につきましては、現時点では1株につき年間30円を予定しております。